

春遠からず

今年も三ヶ月が過ぎ去りました。寒い冬を耐えて、ようやく活動的な毎日が来ます。しかしながら、あまり変わったことをするとそれは危険です。平々凡々が一番です。今年は酉年です。酉の由来は、果実が極限まで熟した状態の事です。たとえば、習い事の上達が得られることか、学問や商売などの成果が得られることでもあります。スーパーでは「酉の市」と称して、利益を上げようとイベントをされています。習い事は、毎日の積み重ねによるもので、努力することがなければ、実を結ばないのが現実です。

努力は、成功の第一歩であり、日々努力することを忘れてはならない。私も、毎朝、勤行して、身体の健康を維持しています。風邪はもちろんのこと、元気に過ごしています。それどころか今日一日成すべきことが見えてきます。二、〇三〇年には、認知症にかかる人が七〇〇万人となり、一日、三十三人がかかると医学的に予想されています。人間は、命を全うするまで自分の意志で生きたいと言う願望があります。

これを叶えなくては幸せではありません。まずは、健康第一です。身体に異常を来したら、早めにお医者さんに見てもらいましょう。そして、脳トレをすれば、認知症の予防ができると言われています。お経を読んだり、お経を写すことであったり、カラオケなどの趣味を持つことで健康が取り戻せると私の経験からお伝えすることが出来ます。是非、行動に移して見ませんか。人生観が変わると思います。いつまでも幸せな生き方がしてい



ただける事をお祈り申し上げます。

家はヨコの夫婦、タテの親子、 十字に結びあっています。

親子は、家のタテの柱です。親子の情は深い本有によるもので、だてや外見でふらついたたり、利害欲得で変わったりするものではない。二十年も探し求めて、父に遭った話、子を求めて火の中に飛び込む母親の話、誠に親子の愛情は古今東西変わりなく、人と人とをタテにしっかりと結び合わせる力です。この愛情はさかのぼっては祖父母、曾祖父母とずっと祖先へ、ついに人類の始原に至る。祖先まつりは、こうした愛情によって年々家々さらに下っては子孫に及び、一家百年の計を立てようとする。これが家庭を貫く一筋の強い流れにとなつて、悠久の過去から永遠の未来へと続くのであります。

次にヨコのつながりは夫婦の話です。嫁は他家から入るのではあるけれども、いったんその家の人になると、生家の方の性格よりむしろ嫁いだ家伝来のもの（姑の持つている性格、癖）を受け継ぐ。養子の場合でも同じことである。こうして家の流れは一筋に長く流れ伝わるものであり、分散して広がっていくのであります。すなわち、家のタテの軸、ヨコの軸が十字にがっしりと結びあつて、家が守られているのです。



わたしのいのち

春分の日、自然をたたえ、生物を慈しむ日であり、秋分の日、祖先を敬い、亡くなった人を偲ぶために、国民の祝日に定められています。いづれにしても祖先によって命がもたらされて、自然の恵みによって、生かされる私たちにとって意義深い。寒い冬を抜けると春がやってきます。気が良くなり散歩の出ると、ふきのとうやつくし

が顔を出し、虫も土の中から這い出してきます。

あらゆるものが新鮮で美しい春、そこには様々な命の輝きがあり、楽しい気分になります。それを感じる事ができるのは、いのちあるものの特権です。ただ単に五感で感じているばかりでなく、あらゆる命は共鳴しているのです。地球が誕生して、約四百万年前に人間が生まれ、祖先となる。祖先から今現在のひとり一人まで、気の遠くなるような長い間の命のリレーで、今、私がいるのです。これは遠い昔から、命の糸が切れずにみなさんまでつながっていることに感謝することです。

総本山西教寺法華千部会のご案内

来る四月五、六、七日、毎年の恒例の法華千部会が開催されます。この法要は、法華経を千部千人が誦誦して、家内安全、学業成就等の諸願成就を祈願する法要で、古来より面々と受け継がれています。



つきましては、供養袋五百円と各家の先祖様を弔うために、**霊名札（戒名札）**二霊六百円を勧募しますので、人々の幸せのために奉納くださいますようお願いいたします。終わりましたら、諸願成就のお守り（御札）を配布します。

※子どもの学業成就（交通安全祈願）祈願をいたしますので、祈願を希望される方は、住職までおたずねください。

だんごまきを開催

日時 三月十四日（火） 午後三時

このだんごまきは、お釈迦様が涅槃の世界に入った日です。仏の世界に生まれ変わって、人々の生活に苦しみを抜いて、心穏やかに過ごせるよう教えを語りかける法要です。一般的に無病息災を祈る法要とも

言われています。是非、お参りいただいて、無病息災のだんごをいただいでください。

大正琴の演奏会を開催しました

二月十九日（日）、女性のついで大正琴の演奏となつた歌を合唱しました。朽木の福田八重子先生とコスモス会のメンバー十四名をお招きしました。大正琴の音色が本堂に響き渡り、多くの壇信徒の皆様聞いていただきました。

後期定式割のご協力お願い

三月十一日、役員会において、決算書が承認されました。つきましては、壇信徒の皆様には、ご出費ご多端の折、誠に恐縮ですが、役員様がお伺いしますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

びんずる会の活動

しゃきょう ほうし ざせん こころ しゅうぎょう
写経、奉仕、座禅をして、心の修養をしますので、皆様のご参加をお待ちします。参加してみようと思われる方は、ご一報下さい。

毎月法話会

毎月十五日に開催します。本堂開けてますので、連絡してね。「玉泉寺住職日記」のブログに毎日更新していきます。ご覧ください。

発行者 高島市安曇川町中三四五九
天台真盛宗玉泉寺 木村 哲基
電話 〇九〇—三七〇八—七二〇六
FAX (〇七七) 五〇二—二二七九
Eメール svka37375@leto.eonet.ne.jp